

## 営業所めぐり

## がちりと東北を掌握する

## 堀本所長以下の面々…

## (その2) 東北出張所の巻

## 仙台の七夕(たなばた)祭がやってきた

「…6日から仙台七夕(たなばた)祭りが開幕青森のねぶた、秋田の竿灯(かんとう)、山形の花笠踊りと、これで東北の4大夏祭りが全部出揃った。

ことしは京浜地方からの観光客が例年より目立ち、市内の特設駐車場も朝のうちに満パイ。マイカーの向うを張るパイコロジも盛んで、仙台駅の荷物取扱所に自転車を持ち込む若者が引きも切らなかった。

この仙台七夕祭り、会期中に必ずひと雨くるといのがジンクス。東北は深刻な干ばつに悩んでいるだけに、この七夕祭りに雨を願う農民も多いもっとも豪華な飾り付けをした商店側は「3日間は晴れ。祭りが終わってからは雨を…」とムシのよい願掛けをしているとか。」

8月6日の読売新聞夕刊は仙台の七夕祭りの模様をこう報じ、ひと風呂あびてスイッチを入れたテレビは、300万円もする豪華な飾り付けもあるという一番町通りのにぎわい振りを見せて呉れたが、この日の仙台は34.2°Cと、ことし一番の暑さだったとか。

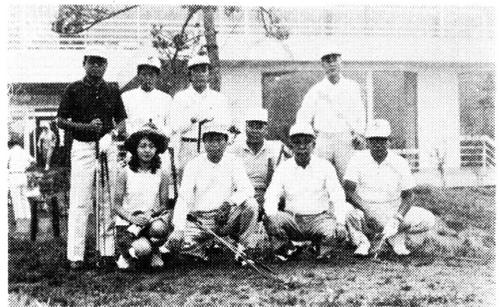
去る7月28日、仙台管区気象台は「水不足の現状と今後の見通し」の説明会を開き、県、仙台市、東北電力、各農業団体関係者に深刻な現状を次のように報告した。

「4～5月の東北の降水量は、山形で平年並みのほかは、例年の50～80%。梅雨期間の6～7月は東北南部で例年の30～50%、北部は10～20%で青森、秋田、岩手の3県が特にひどい。

例年は太平洋高気圧が発達して、日本南部に停滞していた梅雨前線を北上させ、東北に大雨を降らす。ことしは太平洋高気圧の勢力が弱く、乾燥したチベット高気圧の分身と思われる日本海高気圧が日本を覆ったため、梅雨前線を反対の南に

押し戻し、空梅雨にした。”

“日本海に張り出した高気圧は、7月28日ごろから東方へ移動し始めたので、東北地方が気圧の谷になり、雷雨が降る可能性があるが、全体としては水不足の解消は期待できない。8月下旬に来るかも知れない台風の降雨待ち。”



東北出張所の面々

しかし、会期中に必ずひと雨くるといジンクスが間違いないとすれば、新潟県北部の村上市を中心に局地的な豪雨をもたらし、羽越線を中断させた南下中の気圧の谷が、宮城県にも慈雨をもたらした筈で、広瀬川水系の水を使用している200haの水田のヒビ割れも、水不足に悩んでいるという2,700haの水田もホッと一息つける訳だ。

先日所用があってチッソ旭肥料(株)東北出張所へ電話をしたとき応待に出た浜田みどりさんも云っていた。“なんや60年振りの早ばつとか云う人もおるし、とに角落付けん気持です。でもこの頃はなんとなく降りやすいような気配にはなっております。しかし、七夕さんは雨降らせたくはなし一、どう云ったらいいのかしらん…”

こんな一番町通りの中に、わがチッソ旭肥料(株)東北出張所がある。米の生産調整は現在実施中ではあっても、ここ東北というところは、やっぱり米どころ、最近になって野菜振興の声も聞えるが、まだまだ米のウェイトが高い。

このような東北農業に幾らかでもお役に立ちた

いと、磷硝安加里1号、S604、CDU磷加安S555を主銘柄に、各肥料メーカーの中心的な地位を確保しているのが、わが東北出張所であり、これと思ったらテコでも動かん気概の堀本所長以下8名の面々が拡販に東奔西走されている。

そこで、8月号には東北出張所の堀本所長以下の面々のプロフィールを取材しようと考えていると、或る日1通の封筒が届いた。開けてみたら、別項のような原稿が入っていたが、筆者は誰であるか判らない。へたな穿索(せんさく)けるよりも、そのままの方が面白いと思い、2、3修正のうえで紹介した。(K)

### 怒られると怒ると怒らぬ所長

#### 堀本金治さんのプロフィール

肥料は、旭化成工業(株)がコヤシを始めた時からの経験者。所員の尻を叩くだけ叩きながら？も、いかに気嫌よく仕事をしてもらうか、セールス・カーの事故がないようにと、細かい神経を使っている。

今度はテキキリ怒られると思って帰ったときは怒られず、まさかこれくらい的事じゃ怒るまいと、タカをくくって帰って来たときは、案に相違の大むくれで所員をあわてさせる。

仕事でも、ギャンブルでも負けずらい。この性格が仕事面に出てくるという鬼所長？であるそうな…。

#### 所内きってのキレモノ若林昭さん

肥料の経験7年。現在福島県担当。大沢(富士山)クズレの防止策で懸命。所内きってのキレモノで、現在安全運転管理者。それにしては、コヤシが効いてないような身体？で一生懸命肥料を売っている。

#### 体躯の割に、かわいい字を書く流川さん

肥料の経験は6年。現在青森県担当。津軽美人にモテモテで、鼻の下が長くなる一方…。涼風の立ち始めた頭を、いかに調整するか毎朝心をくだしている。

体躯の割には、小さな、かわいい字を書く。(編註一流川さんは6尺豊かな体躯の持主である)

#### フランク永井ばりの池田隆行さん

肥料の経験7年。日下、宮城県担当。歌曲をうたわせては所内随一、フランク永井で迫ります。ただし、酒を飲ませたら、指示薬一杯でたちまち

真っ赤に変色する。そこで土壌分析でも、pH測定では酸性土壌を決して見逃さないという。

#### セミ・チョン解消の森下三熊さん

肥料の経験6年の持主で、現在山形・庄内の担当。ことし、永年のセミ・チョンに別れをつげたせい、近頃勇氣100倍でやる気十分。(本人の話だから間違いあるまい)

山形・庄内では“熊さん”で通り、庄内おぼこにも人気が高いことから、一時は、庄内永住も考えたとか…？歌は見かけによらずショパンなど、もっぱら本格的クラシック型である由。

編註：セミ・チョン=セミはsemi, チョンは朝鮮語のチョンガー。意味は説明の要がないでしょう。

#### 車の運転では所内随一の笠松義男さん

肥料の経験は3年、目下、新潟県のセールスを担当しているが、奥様まで新潟美人とは、並々ならぬ念の入れようだとの評判。車の運転にかけたら、所内で右に出るものなし。長いもの、短いもの、大きいもの、すべてよく乗りこなす。ただ一人の宮城県出身者グッチャ…。

#### 20代にサヨナラした井上勝美さん

20代にサヨナラしたせいでもあるまいが、かっぶくがよくなったが、最近ではチョット太めの感なきにしもあらず。出張中も美人？の奥さんと愛嬢あずさちゃんの写真を離さないという愛妻家であり、良きパパでもある。(ということは、鼻の下も長いということ)

広い岩手県内を駆けめぐり、毎月、計画オーバーの実績をあげてるハリキリマン。

#### 所員のアイドル浜田みどりさん

肥料の経験は4年。東北出張所のアイドルである。週1回出社する所員の楽しみは、所長の渋い顔？を見たショックを癒してくれる彼女の笑顔にある。

あとかき 酷暑の折柄にも拘らず、ますますご活躍のことと存じます。ことしの異常干ばつには全く困ったものだと思います。日照りに不作為なしと申しますが、現地におられる方には、そんなところではありますまい。お見舞い申し上げます。8月号をお届け致します、言訳めいたこととなりますが、かねて予定の三橋全農連会長、埼玉県経済連会長さんの原稿は10月号以降に延期致します。9月号は“食糧はどうなる”(特集)です。(K生)